

臨時農業生産情報

(雷と突風及びひょうに対する技術対策)

令和2年10月12日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

青森地方気象台発表（令和2年10月12日06時03分）の「雷と突風及びひょうに関する青森県気象情報 第1号」によると、青森県では、12日夕方から13日明け方にかけて、大気の状態が非常に不安定となる見込みです。竜巻などの激しい突風や落雷、ひょう、局地的な激しい雨が予想されるので、今後の気象情報に注意し、次の事項に留意して、農作物の適切な管理に努めてください。

1 りんご等果樹

- (1) 防風ネットを張り、破れている部分は補修する。
- (2) りんごでは、支柱のぐらつきや主幹との結束状況を点検し、補強する。
- (3) ぶどうの垣根、なし棚等は、点検し、支柱等で補強する。
- (4) 被害果については、損傷程度に応じて区分し、程度の軽いものは生食向けとし、裂果等がある被害果や落下した果実は、加工向けとする。その際、農薬使用基準上の問題がないことを確認する。

2 畑作・野菜・花き

- (1) ビニールハウスや被覆したマルチでは、倒壊したり被覆資材が飛散しないよう点検、補修を行うとともに、マイカ線や支柱などで補強する。
- (2) 施設周辺やほ場に排水溝を設け、排水対策に努める。
- (3) ながいもなどの支柱は、倒れないように補強する。
- (4) ひょうの損傷を受けた野菜等は、病気がまん延しないよう、薬剤を散布する。

3 水稻

- (1) 刈取りしていないほ場では、速やかな刈取りに向けて排水対策を徹底する。
- (2) 倒伏した場合は、できるだけ早く株起こしを行う。
- (3) はさ掛けなどの自然乾燥中の稻束は、飛散しないよう補強する。

4 畜産

- (1) ロールベールサイレージは、ストレッチフィルムの破損を防ぐため、ブルーシート等で覆う。
- (2) 畜舎等は、破損を防ぐため、支柱等で補強するとともに、シャッターや窓などを完全に閉める。

5 農地・林地・農林業用施設

- (1) ため池は、貯水位が高い場合には放流して水位を十分に低下させておくとともに、洪水吐、水門等を点検し、通水の阻害となる土砂、ゴミや流木等の除去に努める。

- (2) 水路は、水門が適正に閉じているあるいは開いていることを確認し、通水の阻害となる土砂、ゴミや流木等の除去に努める。
- (3) 農地・林地・農林業用施設が被災した場合は、速やかに被災状況を市町村へ報告する。
- (4) 被災した農地・林地及び農林業用施設は、身の安全を確保した上で、被害が拡大しないようシートで被災箇所を覆う。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	<p>(りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 磯辺 慶</p> <p>(野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ【発行元】 GM 高橋 宗壽</p> <p>(水稻・畑作) 農産園芸課稻作・畑作振興グループ GM 腰巡 好之</p> <p>(畜産) 畜産課経営支援グループ GM 山田 健司</p> <p>(農地・林地・農林業用施設) 林政課治山・林道グループ GM 開米 常史</p> <p>農村整備課防災・積算グループ GM 石黒 峰成</p>
電話番号	<p>(りんご等果樹) 直通 017-734-9492 内線 5092</p> <p>(野菜・花き) 直通 017-734-9481 内線 5076</p> <p>(水稻・畑作) 直通 017-734-9480 内線 5073</p> <p>(畜産) 直通 017-734-9496 内線 4814</p> <p>(農地・林地・農林業用施設) 林政課 直通 017-734-9524、内線 4849 農村整備課 直通 017-734-9556、内線 4890</p>
報道監	農林水産部 次長 石澤 雅史(内線:4966) 次長(農商工連携推進監) 赤平 次郎(内線:4967)

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。